

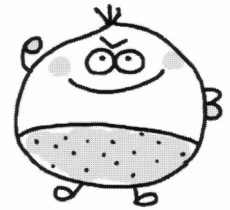
HDM推進会（第56回）／ごみゼロネット推進会（第78回）議事録

開催日： 2014年(H26年)11月12日(水)10:05～11:45

場所： コミュニティサロン・はけ

出席者： 大橋、加藤、杉本、山本、川村（作成）

議題：



1. 加藤氏より資料提出して説明

- (1) 日野市ごみ広域化問題 についての チラシ（新石自治会、小金井・国分寺市のごみ受け入れに反対する日野市民の会、ごみ広域化に反対する日野女性の会、他市からのごみ受け入れ広域化に反対する日野女性の会、他市からのごみ受け入れ広域化に反対する
見てびっくり!? 市民への説明と全く違う「基本設計」
- (2) ごみ問題・監査請求を進める会 よりの チラシ
ゴミ問題 市民として、もう黙ってられません!

日野市の反対グループが 住民投票を求める署名運動を行う 目標3万人との事
日野市での反対運動集会に加藤代表が招かれて演説した、(盛大な拍手を受けたとの事)

- (3) 廃棄物減量等推進審議会大江会長、委員各位宛 加藤氏作成
家庭ごみ減量と生ごみ分別収集実施の提案 (別紙)

2. 討議

ごみ対策課は ごみ減量推進の方法として 啓蒙につきる、生ごみ水切り処理を推進するとの事
いままでの主張と変わりなく 減量になっていない事実があるのに やる気がないのでは ないか。
市議会も生ごみ分別の 林さんの陳情に対しても、分別の問題点のみ挙げ 分別反対を主張している
市議もいる、燃やすごみを 減らす事に反対しているのでは ないか、
市議会も問題なので なにか圧力をかける必要があると思われる

(討議中に田頭市議が 打ち合わせの場所が わからないと顔を出したので 話をチョットだけする)
ごみ問題は市議として言えない 市民が言って欲しい、以前の佐藤市長の件が多大な影響がある、
広域処理は市民の利益になると思っている、
ごみ安定的処理を確定する事が最重要課題、市民もそれを望んでいると思う (本当かどうかわからないの
では
?との問いに そうかもとの返事、)

市議は、ごみ問題は ヘタな事したら 自分の身ににならない と 思っている(思わされている)
市長は 南口再開発等に市税は使い 一部福祉の補助減額 ごみ減量による市税削減に取り組まない

●今後の活動について

小金井市民が、ごみ問題、広域化処理の問題等 内容を知らないのでは ないか 目にとまるチラシ作製して
配るのが有効では ないか との事になり

文は加藤代表がたたき台を作成 用紙は山本さんが提供していただけるとの事、レイアウトは
大橋さん 林さん 山本さん が センスが あると思われるので 願います。

たたき台ができた段階で その他もろもろの事を 検討する。

市民に集会を開催して知らしめる事も検討する、

以上